

# はぐるま

平成27年8月発行

87号

## 目次

- ・日本医療機能評価機構より再認定——2
- ・歯科口腔外科に専門外来新設——2
- ・加齢黄斑変性症と硝子体内注射療法(眼科) ——2
- ・脳卒中と健康管理——3
- ・看護部紹介——4
- ・薬剤科紹介——5
- ・人間ドックのおすすめ——6
- ・機能強化型訪問看護ステーション——6
- ・人事課よりお知らせ——6
- ・筑西広域防火管理協議会より表彰——6
- ・恒徳会だより——7
- ・外来診療担当医表／編集後記——8



協和中央病院は日本医療機能評価機構  
(3rdG:Ver.1.0) の認定を受けました



## 協和中央病院は 日本医療機能評価機構より再認定を受けました



医療法人恒貴会 理事長  
協和中央病院 院長  
**中原 昇**

協和中央病院は日本医療機能評価機構より3回目の認定を受けました。機能評価の認定には意味を問う方も少なくないとは思いますが、病院の機能において第三者の目から判定してもらうこと自体は意味のあることだと思います。今回3回目の受審を決定したのもそういう思いからです。事実再受審をしない病院もあるようで、現在認定病院は、2266病院だそうで一時より少なくなっているようです。受審には病院の機能によりいくつかの

分野に分けられております。我々は『主として二次医療圏の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院』という分野で受審し、無事認定をいただきました。認定取得に向けた取り組みは、職員一人ひとりの意識を変えました。認定されたことが第一歩と考え、ここからもっと質の高い医療の提供をめざしていきます。地域の皆様とともに造っていく病院と考えておりますので、ご協力をお願いいたします。



※病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

## 歯科口腔外科 専門外来が新設されました

今年4月から歯科口腔外科に専門外来が新設され、自治医科大学附属病院より森良之教授（第2・第4金曜日）、神部芳則教授（第1月曜日）、野口忠秀准教授（第3月曜日）が着任されました。森教授は顎変形症、悪性腫瘍が専門で、神部教授は粘膜疾患が専門です。スタッフ一同、今まで以上に地域の皆様のニーズにお応えできるよう努めて参りますので、よろしくお願ひします。



自治医科大学附属病院  
歯科口腔外科学講座  
主任教授  
**森 良之先生**

私は長年にわたり、顎変形症などの发育異常や口唇口蓋裂を始めとする先天異常患者の外科的矯正治療、口腔癌治療、顎骨再建手術を専門としてきました。特に、顎矯正手術においては、著しい反対咬合を呈する口唇口蓋裂症例に対して上顎骨延長術と下顎骨切り術を組み合わせた2段階手術や、顎関節強直症における骨延長法を用いた再建など、多くの難治症例の咬合再建に取り組んできました。

こうした経験を基にして、口腔外科的疾患を患って協和中央病院に来られる患者さんに、最善の医療を提供できるよう今後さらに精進していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 専門医

- ・歯学博士
- ・日本口腔外科学会専門医
- ・日本口腔外科学会指導医
- ・日本がん治療認定医機構 暫定教育医（歯科口腔外科）
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医（歯科口腔外科）

### 所属学会

- ・日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本頭頸部癌学会、日本顎変形症学会、International Association of Oral and Maxillofacial Surgeon、他。



## 加齢黄斑変性症と 硝子体内注射療法



協和中央病院  
眼科  
**高山 良**

加齢黄斑変性症は近年日本で急増している疾患です。欧米先進国において成人の失明原因の第1位となっております。網膜の中心にある黄斑部の機能が老化に伴い劣化する疾患で、網膜色素上皮細胞、ブルッフ膜、脈絡膜毛細血管板が変性します。蛍光眼底造影検査、脈絡膜造影検査、OCT（光干渉断層計）を用いて病態を把握し、脈絡膜新生血管を伴う滲出型と萎縮型とに分類されます。数年前は光線力学療法というレーザー治療が主流でしたが、近年はより侵襲の少ない抗 VEGF 抗体の眼内注射治療が主になってきております。当院でも病変に活動性があれば積極的に治療を行っております。

また網膜静脈閉塞症や糖尿病による黄斑浮腫に対しても治療の適応となりました。黄斑浮腫の病態把握には OCT（光干渉断層計）が必須です。当院でも4年前より導入しております。黄斑浮腫の治療は硝子体手術などが行われていましたが、改善が難しく治療困難でした。抗 VEGF 抗体の眼内注射治療はより非侵襲的で治療効果が非常に期待されている治療です。当院でも積極的に行っております。硝子体注射は感染症予防な



どの安全を考慮し手術室にて行っております。今後も当科では有効と思われる最新の治療を積極的に導入していきたいと思っております。



# 脳卒中と 健康管理



協和中央病院  
脳神経外科部長  
黒川 徳一

今回は最近の脳卒中の話と健康管理の話をお伝えしたいと思います。

## その1 脳梗塞について

tPAという強力な血栓溶解剤が使えるようになり、発症4.5時間以内の早期使用が可能であれば、良い治療結果が期待できるようになってきております。当院でもここ数年、使用例が漸増してきております。大切なことは、発症時間が明確であること（発見時間ではありません）です。重大な基礎疾患があると使用禁忌もありますので、日頃からお薬手帳や健康管理情報を携帯されておくと、急な受診に際して混乱が少ないです。近年はカテーテル治療が進歩してきており、3次救急病院の現場などでは血栓の破碎や吸引といった、侵襲的な治療も行われております。

## その2 脳出血について

一般に高血圧などの生活習慣病に対する関心が高まり、放置してしまう方は少なくなっております。脳出血も重症例は減少している印象です。とはいえ、若い方でも20～30歳代から高血圧のみられる人もあり、早期に降圧管理をしていかないと、残念ながら40～50歳代で倒れてしまう方も未だにいらっしゃいます。ひどい脳出血には救命のため血腫の除去手術が必要ですが、重い後遺症が残ることも多いため、なるべく脳を傷つけないように行います。場合により、顕微鏡や神経内視鏡などの機械を利用する施設もあります。

## その3 くも膜下出血について

出血の原因は脳動脈瘤が多く、治療の方法には、クリッピング手術と血管内コイル塞栓術の二つの方法があります。私どもの施設では手術対応のみ可能ですが、血管内治療の可能な施設では、どちらがより安全かつ有効な治療かを比較検討しつつ選択されます。近年は血管内治療の道具がどんどん進歩しており、数年前には困難であったようなケースも治療が試みられてきており、治療例も増えているようです。

高齢化がますます進んでいる現状でいつも思うのは、元気で長生きしようという皆さんの共通した気持ちです。家族になるべく迷惑をかけたくない、世話をかけたくない、という生き方をしたいと願っておられます。年をとるに従い、いろいろな病気をしてしまうので、うまくつきあって行く必要が出てきます。多少不自由でも、知らない間にさらに悪くならないように、つきあう。いろんな薬をもらった場合は、全部飲むのも大変です。

混乱してしまったときは、まず、自分の健康状態を把握して、どの病気を優先的に治療していくのか、最低限、これだけはきちんと飲まないといけない薬は何か、主治医の先生にご相談されておくとよいでしょう。基本的に自分で何とかできること、たとえば、足腰の衰えを防ぐために散歩などの運動をする、肥満予防のために食事をきちんと管理する、などはとても大切です。元気で長生きされている方にお話を伺うと、皆さん、良く体を動かしておられます。できることから、お互いに、少しずつやってみませんか。



新館3階病棟  
新井 梢

4月から新館3階病棟で働き始めて3カ月が過ぎました。毎日忙しく分からないことや知らなかったことがたくさんあり自分の知識のなさ、勉強不足を痛感しております。それと同時に、外来にいた2年間で学んだ先輩方の姿勢や技術、看護の奥深さなど本当に大切なことを教えていただいたのだと実感しております。これからも学生時代に外来で学んだこと、教えていただいたこと、全ての学びを糧に日々精進していきたいと思っております。



## 新人看護師の声



新館2階病棟  
小松本 芹奈

病棟に配属され、学生の時に学んだことと臨床の現場での違いに戸惑うことが沢山ありました。また、自分自身の技術不足に毎日悩んでいたこともあります。先輩に1日でも早く追いつこうとし空回りしてしまうこともありました。しかし、先輩達からの助言をいただき「慌てず1つ1つ覚えていけばいいんだよ」「毎日出勤することが大切だよ」などの言葉を胸に日々業務に取り組んでおります。看護師になり患者様の笑顔・ありがとうございます、私の元気の源です。その源を絶やさぬためにも患者様との信頼関係を育み先輩達のような看護師へ近づけるよう努力していきたいです。



## 地域に発信

### 医療法人恒貴会が、看護師育成の総合的な学習の教室になる日

毎年、夏休みのこの時期を利用して、「中学生の看護師体験及び高校生のインターンシップ」を実施しております。

若い世代に看護の魅力を伝え、看護職を目指す機会になればと考えられた取り組みです。看護職をはじめとして、「医療職」に大きな期待を抱いての参加者は年々増加傾向にあり、初めての手術室や救急処置室等で、たくさんの驚きの声も聞こえ、体験後は「看護師さんの気配りはすごい」「手術の機械はものすごく多い」「話すことの重要性を体験した」など、看護職についていろいろと悩むきっかけを掴んでもらえることは、看護部一同大きな喜びを得るところです。

しかし体験で得られた貴重な「ひらめき」は、残念ながらその後の具体的手段に対する情報不足という大きな壁に直面し、進路決定にまで活かし切れていないことも少なくありません。

そこで、平成25年度より近隣の高等学校との連携を深め、学校教育の「総合的な学習の時間」を有効に活用していただくための、独自の支援プログラム「進路の扉・職業探索」を実施しており、本年も数校から100名以上の参加者を見込みます。大きな特徴は職業の体験のみならず、高等学校での出張セミナー「医療職への道」も含め、事前アンケートで得られた不安点である、進路に対する進学校の特徴・資格取得までの学習対策・奨学金制度等をより具体化することで、体験で得られた思いを目標へと継続できることを狙

いとしております。

その効果は、実施後のアンケートから「一所懸命勉強して必ず看護師になりたい」「進路について初めて真剣に考える機会となった」「家族と進路についてじっくりと話し合った」等、進路について自ら考えることができるばかりでなく、家族と共に考える時間を得られる機会となっていることは、参加者が大きな成長を実感できる場であり、本年もどんな若者と出会うかと楽しみに期待しながら、一人でも多くの看護師の誕生と、今後当院で一緒に働けることを祈っております。



人材教育推進室  
室長  
柳田 弘章



看護師国家試験  
対策ゼミ実施中

看護師育成に  
取り組んでいます



## 看護の質の向上のために



新館3階病棟  
若林 千晴

褥瘡予防には欠かせないものとして体圧分散寝具があります。その体圧分散寝具導入後に大切となってくるのが定期的な体圧測定による評価とアセスメントで体圧管理を行っていくことです。また、体圧分散寝具の機能をフル活用していくためにはベッドメーカー方法をはじめ機能を使いこなすだけの知識と定期的な点検が必要となってきます。これらのことを踏まえて今後も褥瘡予防ケアに一層力を入れていきたいと思っております。

### 褥瘡予防ケア セミナーを受けて

6/20 褥瘡予防セミナーに参加させていただきました。入院患者さんには褥瘡(床ずれ)を持つ方が少なく、治療はもちろん予防も大切なケアのひとつです。予防のためにはマットやクッションなどで個々に適した体圧分散を行うこと、処置としては創部(傷)だけでなく全身状態を含めた上でのケアを行うことが治癒を早めることにつながり、私たち看護師がもつ役割は重要であることを再認識できました。貴重な学びとなりました。



北1階病棟  
廣瀬 順子



# 薬剤科の紹介



医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上、医療安全確保の観点から、薬の専門家である薬剤師が積極的に薬物療法に参加することが

求められております。当薬剤科では、患者様の立場に立ち、患者様が安心して薬物療法が受けられるよう、チーム医療の一員として安全かつ適正な薬物治療の提供に努

めております。当院で処方された薬について分からないことや不安なことがありましたら、当院の薬剤師がご相談に応じますので遠慮なくご質問ください。

## 業務内容

### 調剤業務

患者様に処方された薬の名称、用法、用量、相互作用（飲み合わせ）などを確認しながら調剤し、医師とともに有効で安全な薬物療法を支援しております。



### 病棟業務

全ての病棟に薬剤師を配置し、安全に薬が使用されているか確認しております。また、薬の用法、用量、副作用などを患者様にお伝えすることで、患者様の不安や疑問をなくし、安心して服薬できるよう心がけております。



### 注射薬混合業務

一部の注射剤（中心静脈点滴）や抗がん剤の混合をキャビネット内で行っております。薬の相互作用を確認し、複数の薬剤師で監査をした上で混合しております。抗がん剤は、処方内容について個人計画表に基づき、投与量、投与速度、投与間隔などの薬学的チェックを行います。



### 医薬品管理業務

病院内で使用される薬の購入、在庫管理及び有効期限などの品質管理を行い、良質な医薬品を安定供給しております。



### 薬剤科の業務量データ

院外処方箋枚数	約 220 枚 / 日
院内処方箋枚数	約 70 枚 / 日
薬剤管理指導料算定件数	約 700 件 / 月
無菌製剤処理件数	約 230 件 / 月

### スタッフ数

薬剤科のスタッフ	薬剤師	7 名
	事務	2 名

人間ドック  
のすすめ

## 1年に1回の 人間ドックで 健康チェックを!



健康医学管理センター 係長  
青木 久則

いつも「元気で健康でありたい」と思うのは皆の願いです。生活習慣病と言われている肥満、高脂血症、糖尿病・高血圧・がんなどは初期には自覚症状はほとんど見られませんが様々な病気や、合併症を引き起こすと言われております。

当院の健康医学管理センターは、地域の健康増進に寄与する目的を持ち、人間ドック等の健診委託事業を受け入れることで近隣地域の健康増進に努め、また、職員健診を実施し職員の健康維持に努めております。

当センターの人間ドックは、一般の人間ドック、脳ドック、

人間ドックと脳ドックを併せた、総合ドックの3種類のコースを用意しております。

その他オプションとして、土曜日の担当医師が乳房検査・月2回火曜日の午後子宮細胞診検査を行っております。

人間ドックは、知らないうちに悪くなっているところはないか、あるいは日頃気になっているところが問題ないか等をチェックするのが目的です。1年に1回、定期的に受けられることをお勧めします。1年に1回の健康チェックを忘れないよう、例えば誕生日の月に、毎年ドックを受けるようにするのも良い方法だと思います。

料金等の詳細は、当院ホームページにも掲載されておりますのでお気軽にお問い合わせください。(完全ご予約制となっております。)



## 機能強化型訪問看護ステーションとして

少子高齢化社会を迎え桜川市や筑西市においても介護や医療を必要とする在宅療養者が増加し、なおかつケアに携わる人材は不足している状況が少しずつ表面化してきました。このような中、訪問看護ステーションに対しては、速やかに24時間安定した看護を提供することが求められています。訪問看護ステーション愛美園は1999年から24時間年中無休で訪問を行い、桜川・筑西の両市で354名の方の在宅看取りを支えてきました。

2014年4月から、愛美園のように、重度の方にも訪問し、在宅看取りに係わり、居宅介護支援事業所を設置し医療・介護のマネジメント機能を持ち、学生や看護師の教育研修に携わっている訪問看護ステーションに対して、機能強化型訪問看護管理療養費1が算定できるようになりました。愛美園は2014年4月から算定させていただいております。制度開始から1年が経過した2015年3月において、全国7800箇所の訪問看護ステーションの内、108箇所のステーション、茨城県では112箇所のステーションの内、4箇所のステーションが算定しております。

今後は、機能強化型訪問看護ステーションの役割である「地域住民への相談支援」を何らかの形で行って行けたらと考えております。地域の皆様のご指導とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



訪問看護ステーション愛美園  
所長  
中島 由美子

## —人事課より—

今回、二つの紹介をしたいと思います。

一つは、医療法人恒貴会の福利厚生施設をランキングで紹介したいと思います。一番人気がある施設は、東急ハーヴェストクラブ(リゾートホテル)の『那須』になります。続いて、『日軽井沢』、『鬼怒川』の順番になります。那須の人気の理由は、アクセスが非常に良く、2時間足らずで行け、またホテルもできたばかりで新しく、ホテル周辺にもたくさんの観光スポットがあります。また、日軽井沢も北関東自動車道の利用でアクセスは向上され、人気があります。今回紹介した施設は、ほんの一例です。リゾートホテルだけでも全国各地にあり、それぞれの目的にあった施設を選択することができます。

この他にも恒貴会では、様々な福利厚生制度があり、とても充実しております。ぜひ、一人でも多くの職員に福利厚生制度を利用してもらい、それぞれにあったワーク・ライフ・バランスの実現の一助になればと思います。

二つめは、医療法人恒貴会を定年退職した職員の人材活動、親睦と福利厚生を目的に、平成16年7月に設立されました恒貴会友の会です。設立当初は、9名から始まりましたが12年目を迎える今年は、28名の方が在籍しております。

主な活動は、雇用推進や親睦行事の開催、ボランティア活動の援助等です。高齢化社会が進行する中で、今まで養われた知識と経験が必要であり、友の会の活動が法人にとって、今後益々必要になっていくと思います。



住宅用火災警報器普及促進標語に恒貴会より2名の方が入選し、筑西広域防火管理協議会より表彰を受けました。

最優秀賞 **住警器つけて守ろう 家族の笑顔**

協和中央病院 外来医事情報課 緒方 洋介

入賞 **天井にあって良かった住警器**

事務局 人材教育推進室 室長 柳田 弘章

## 桃香園



# 音楽祭に参加しました



桃香園  
生活支援員  
吉田 文晴



6月24日(水)、結城市民文化センターアクロスにて茨城県心身障害者福祉協会主催の第12回音楽祭が行われました。桃香園からは、4名の利用者様が音楽祭に参加いたしました。今回発表した曲は、おなじみのお笑い芸人、クマムシさんの「あったかいんだからあ♪」の曲を発表しました。

職員も参加し、楽器の演奏曲に合わせて振り付けダンスを踊り、一緒に披露しました。場内は熱気にあふれ、発表するステージ上では、とても緊張した表情が見受けられました。惜しくも賞をい

ただくことができませんでしたが、音楽祭に参加できたことで、他施設のご利用者の方々と交流ができ、楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

また、楽しく音楽祭に参加できたことは、主催者ならびに関係者のご協力のお陰と心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 菫授園



菫授園  
生活支援員  
飯村 哲也



いました。午後は今回の旅行のメインである牛久大仏様へ拝観です。車中では利用者様より「どれくらい大きいか楽しみ」と言っているのを耳にしました。参加した方は皆そのように思ったことでしょう。近づくにつれ

6月23日に牛久方面にご利用者の方々と日帰り旅行に行ってきました。当日は天候不安定との予報でしたが、徐々に雨雲がなくなりお昼頃には雲ひとつない晴れ間になりました。昼食は牛久市にあるワインで有名なシャトーカミヤでランチコースです。普段では食べられない料理に舌鼓を打って

つれ木々の間より少しずつ大仏様が見え、車窓より「おおっ」と思わず言葉が漏れるほどで、大仏様の足元よりみんなで見上げると一同に「大きい」と言葉があふれてしまいました。拝観後に雨に降られてしまいゆっくりすることができませんでしたが大変楽しい1日になりました。

楽しい  
日帰り旅行

# 外来診療担当医表 平成27年8月

診療科		月	火	水	木	金	土
脳外科	午前	1 中原	中原	中原	中原	中原	中原
	2 五味	長	黒川	横田	長	黒川	
●脳外科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。							
外科 消化器外科・肛門科 血管外科	午前	1 佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川
	2 高坂	石川	高坂	降旗	石川	高坂	
	3 石川	降旗					
内科	午前	1 玉野 一般内科	玉野 一般内科	小島 消化器・一般内科	川越 一般内科	川越 一般内科	長山 一般内科
		2 川越 一般内科	小島 消化器・一般内科	木村 一般内科	萩野 循環器・一般内科	磯田 一般内科	小島 消化器・一般内科
		3 福島 一般内科	磯田 一般内科	阿部田 一般内科	福島 一般内科	武井 内分沁内科(糖尿病)	(予約)新保 循環器内科
		5 福田 循環器・一般内科	村上 内分沁内科(糖尿病)	内海 糖尿病外来	阿治部 消化器・一般内科	小林 神経内科	大内 一般内科
		7 佐渡 呼吸器・一般内科	大内 一般内科	玉野 一般内科		大内 一般内科	
	午後 (予約のみ)	1 阿治部 消化器・一般内科	村上 内分沁内科(糖尿病)		竹森 一般内科	小笠原 神経内科	
		2 市田 循環器内科			磯田 一般内科		
	●内科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがあります。●午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。						
専門外来	午後	村田 睡眠呼吸障害(予約のみ)	加藤 漢方専門外来		菱田 頭痛専門外来		
	午前・午後 (午後予約のみ)		北川 循環器科				
小児科	午前	斎藤	長尾	長尾	佐藤	黒澤	自治医大(交代制)
	午後	斎藤	長尾		佐藤	黒澤	
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1,3,4,5 木村 第2 藤田
	●月・木・土(第2)の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1,3,5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。						
痛みの外来	午前			佐藤			
皮膚科	午前・午後		西川			山内	
泌尿器科	午前		別納		水野		幸
	●泌尿器科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。●土の受付は10:30までとさせていただきます。						
眼科	午前・午後		高山	高山(午前のみ)	山下・竹村(交代制)	高山(午後は予約のみ)	
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1 串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2 仙名	仙名	鹿志村	仙名	仙名	仙名
		3 山下					
	午前	4 第1 神部 第3 野口				第2, 第4 森	

※受付時間《午前の部》月・火・木・金(7:30~11:30) 診療開始 9:00  
水・土(7:30~11:00) 診療開始 9:00  
歯科・歯科口腔外科(8:30~11:00) 診療開始 9:00  
※水・土の午後及び日・祭日は、休診です。  
※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科・眼科(13:30~15:30) 診療開始 14:00  
眼科(木)(13:00~15:00) 診療開始 13:30  
内科(13:30~16:30) 診療開始 14:00  
小児科(14:30~16:30) 診療開始 15:00  
歯科・歯科口腔外科(13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※ 受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

## 安心が地域に根ざす にいばりの医療・福祉の杜

### 協和中央病院

・脳神経外科・内科・呼吸器科・外科・消化器科・整形外科・眼科  
・泌尿器科・皮膚科・小児科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科  
・歯科・歯科口腔外科・漢方内科  
茨城県筑西市門井1676番地1 電話0296-57-6131(代)  
E-mail:kyowa@kokikai.com

### 療養病床

### 協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1 電話0296-57-5133(代)  
E-mail:minami@kokikai.com

### 介護老人保健施設

### 協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2 電話0296-57-6030(代)  
E-mail:healthy@kokikai.com

### 大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12 電話0296-58-7788(代)  
E-mail:yamato@kokikai.com

### 訪問看護ステーション

### 愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12 電話0296-20-6780(代)  
E-mail:aibien@kokikai.com

### ホームページアドレス

<http://www.kokikai.com>

皆様のアクセスをお待ちしております!

### 障害者支援施設

### すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21 電話0296-57-5125(代)  
E-mail:sumireen@kohtokukai.jp

### 障害者支援施設

### 童授園

茨城県筑西市門井1687番地1 電話0296-57-3400(代)  
E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp

### 障害者支援施設

### 桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10 電話0296-58-7870(代)  
E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp

### 新型特別養護老人ホーム

### 恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1 電話0296-57-7268(代)  
E-mail:koukouen@kohtokukai.jp

### 編集後記

今年、当院も開院してから35年…月日がたつのは早いものですね。

この間、年をまたいだと思ったらもう1年も折り返し時期、過ぎた半年に様々な出来事が刻まれ、まささらな半分の日々が出番。歳を重ねて思うこと「平穩」を願います。

委員一同興味を持っていただけるような機関誌をお届けしていきたいと思ひます。

ご協力いただきました皆様ありがとうございます。(延嶋)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

- 発行責任者／中原昇
- 編集委員／飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 延島喜恵子 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131

